

平成 29 年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会



11月8日(水)～10日(金) 於 岡山県聴覚障害者センター



<きらめきプラザ>



特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会の主催で、情報提供施設でビデオ制作やITを担当職員の研修会が岡山市のきらめきプラザ4Fの岡山県聴覚障害者センターでありました。

電話リレーサービスの動向、遠隔手話通訳サービス（熊本の取り組み）、アイドラゴン4について、デフVあるある2（ICT関連の手話の統一）、岡山の映像制作の取り組み、編集の方法（エディウス基礎）、グループ討議と3日間盛りだくさんの内容でした。参加者は37人で情報交換しあって具体的な映像制作のありかたを知りました。（石岡）

おじゃましました(3)

〔熊本県聴覚障害者情報提供センター〕

11月上旬、旅行のついでに熊本県の情報提供施設におじゃましました。

熊本駅からバスで40分、日赤病院の隣にある身体障がい者福祉センターの2階にあります。自主制作ビデオライブラリーや電話リレーサービスなど先駆的な事業を取り入れ地域に根ざした活発な取り組みをされていました。水前寺公園の近くには「熊本聴覚障害者総合福祉センター」があり手話通訳派遣などを担当しています。（鈴木）



（左から所長さん担当さん、電話リレー画面、制作スタジオ）



11月の行事から

DVDを観る会

11月16日(木)14:00～15:30



初回のテーマは歴史。「壁を拓く、社会を開く一昭和30年～40年代のろうあ運動」から運転免許裁判のDVDを観ました。樋下さん（画像）の権利への熱い思いを感じ、社会を開いてきた先人のろうあ運動の軌跡が読み取れました。広島の人々の当時の話も伺えてとても有意義な会になりました。（参加者4名）